

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和 7 年 9 月 30 日				
あけぼし						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		各取り組みに応じて、スペースを確保しています。	十分に体を動かせることが出来るよう、今後も安全面を考慮し、安心して過ごせるスペースを確保していきます。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6	1	配置基準は十分に満たし配置していますが、送迎時など支援員が少ない時間帯が発生していることがあります。	送迎時間は、事業所待機の支援員が少なくなる時間帯があります。送迎時間内での支援員の補充を考えていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		視覚支援等で、お子さまにわかりやすく表示を行っております。	バリアフリーで設備にも力を入れておりますが、情報伝達等で見直し改善ができる点があるかと思っています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		感染症対策を重視し、室内の清潔保持に努めております。	引き続き、清潔、快適に過ごせるよう、事業所内の清潔保持と環境整備に取り組んでまいります。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		共有の学習スペースと個別で学習を行なえるスペースがあります。必要に応じて、個室を使用しています。	個別での対応が出来るよう整備しておりますが、個室の数が限られておりますので、支援員で意見を出し合い、個別空間を増やせればと考えております。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		日々の支援の振り返り（職員会議）を定期的に行い、見直しを行っています。	職員会議での振り返りを非常勤含め全体で行えるよう、出来る限り調整してまいります。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		事業所評価表を配布し、意見を把握し業務改善につなげています。	事業所評価表の配布が今回が初めてとなります。今後も評価表にて、保護者様のご意見を把握することに努めます。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		職員会議を実施し、個々の療育内容を確認し、業務改善につなげています。	職員の意見を聞き取る時間を確保していきます。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	第三者による評価は受けていません。	今後は、第三者による評価を受けられるように致します。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		事業所内研修や外部研修に参加できるようにしています。	事業所内研修や外部研修の情報提供を行い、支援員の資質の向上につながる研修の機会を増やしていきます。
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		作成し、公表している。	内容の見直しなど、必要に応じて行ってまいります。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		アセスメントを基に作成しています。また、相談支援員からの計画書を確認し、それぞれの障害特性に応じた個別支援計画書を作成するよう心掛けています。	アセスメントを適切に行えるよう、子どもや保護者様のニーズを客観的に分析し、個別支援計画書の見直しをしていきます。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		職員全体で支援方向を検討しています。また、共通理解が出来るよう、職員の意見を聞き取りお子様の支援を行っています。	共通理解を深められるよう、支援員の意見や見立てを聞き取る時間を確保していきます。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		個別支援計画書や連絡ツールで共有され、支援を行っています。	日々の業務に追われている現状があります。計画に沿った共通の支援が出来るよう努めます。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		日々の支援内容や様子など、連絡ツール内で共有しています。	日々の行動や活動の記録を支援員が確認できるように、連絡ツールを用いて確認しておりますが、共通認識をしっかりと持てるよう改善していきます。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		5領域に対する支援内容を考え記載し、支援内容を設定しています。	より分かりやすくご提示できるように、改善していきます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		活動プログラムについて、話し合い意見を出し合うことをしています。	新たなプログラムも含め、検討していきます。

の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		毎日違ったプログラムを行い、内容も固定化しないよう工夫しています。	色々な意見を前向きに取り入れていきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個別療育、集団療育をスケジュールに取り入れています。	子どもたちが楽しみながら、様々な取り組みに参加できるようにしていきます。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		事前に当日の役割分担を決め、連携を取っています。	連携を強化し、それぞれの支援員の役割を明確にし、スキル向上につながるようにします。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		支援終了後に、申し送りや改善点を共有しています。また、送迎時に保護者様からの情報などの共有を行っています。	情報共有に漏れないよう、細心の注意と意識をもって共有するように努めます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		日々の支援内容を記録しています。達成点や課題点など、支援員間で共有し改善点があれば、都度、支援の検討を行っています。	支援の検討や改善案を話し合えるよう、時間を確保し、検討していきます。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		定期的にモニタリングを行い、個別支援計画書の見直しを行っています。	保護者様の意見やニーズを聞き取る機会を増やしていきます。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7		日常生活の充実を図る身辺自立に向けた支援や、創作活動、地域交流の機会の提供、余暇の提供を行っています。	地域交流に関しては、今後、積極的に交流できる場面を増やしていきます。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		自己選択する機会を多く設け、自身で選択する場面を多く提供するようにしています。	自己選択が難しいケースの場合など、様々なツールを用意できるようにしていきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		児童発達支援管理責任者、管理者が参加しています。	様々な会議参加できるよう、体制を整えています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		各関係機関と連携、体制を整えています。	こちらからも積極的に、各関係機関に働きかけていきます。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		学校側との情報共有は必須で、下校時間などの確認は頻繁に行っております。	情報共有に漏れないよう、細心の注意と意識をもって共有するように努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7		これまでの支援内容など、関係機関との連携を行っています。情報共有を行い、相互理解に努めています。	情報共有が出来るよう、こちらからも働きかけていきます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		これまでは対象児童がいまいませんでしたが、今後障害福祉サービス事業所へ移行する方がいれば、支援内容の情報を提供していきます。	今後必要な場面があれば、これまでの支援内容を提供し、スムーズな意向が出来るようにしていきます。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		定期的にセンターとの連携を行っています。	まだまだ助言していただく機会は少ないと感じております。また、研修に参加できる機会を増やしていきます。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7		感染症予防の観点から、控えておりました。今後は状況を見極め、他事業との交流を積極的に行っていきたいと思っております。	今後は、感染症拡大の状況を見極めながら、交流できる機会を増やしていきます。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7		これまでは機会がなく、参加出来ておりませんが、参加したい意欲は強く持っています。	機会があれば、参加させていただきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		送迎時が中心になりますが、日々の様子や成長過程での達成点、課題点を伝えあうようにしています。	保護者様から相談しやすい関係性を構築していきます。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	家族支援プログラムに繋がる研修の実施は出来ておりません。保護者様からの情報共有は日々行っております。	保護者様参加向けの研修を検討していきます。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明させていただいております。	後日、分らない点があればご連絡いただけるよう、再度、窓口を周知させていただきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		こどもの考えや意思を聞くようにしています。必要に応じて子ども会議を行い、子ども同士で意見を出し合う機会を設けています。保護者様の意向は、定期的に個別面談等を行っています。	保護者様の個別面談の機会を増やしていきます。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	2	保護者様との連絡ツールを用いて、個別支援計画書を提示しております。変更点などについて、送迎時にお伝えしたりしています。	ゆっくり説明する時間を作っていきます。

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		送迎時にお聞きすることが多いです。また、個別面談を実施し、必要に応じて電話連絡にて相談を受け、助言するようにしています。	相談しやすい関係性の構築に努めていきます。また、個別で話ができて、助言できる機会を増やしていきます。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		夏祭り等で保護者同士の交流の場を設けました。ごきょうだいいも参加いただきました。2年目に入るタイミングで保護者会を開催します。	今後のイベント時も、保護者様やごきょうだいが参加できる機会を増やしていきます。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		苦情案件があった際は、対応の体制を整えるとともに、迅速かつ適切な対応するよう心掛けています。	時間帯により、迅速な対応が難しい場合があります。可能な限り迅速かつ適切に対応できるよう努めます。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		活動報告については、ホームページにて公表しております。また、日々の様子については連絡ツール内にて写真を提示し内容を発信しております。	ホームページ上で活動報告を行っています。ホームページに掲載した際に、保護者様にも周知出来るよう改善していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		鍵付き書庫にて厳重に保管しております。	引き続き、厳重に保管するようにしていきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		意思伝達がスムーズに出来るよう、配慮しております。	時間によって電話連絡が難しい場合があるため、メールや連絡ツールを使用し、情報伝達をしています。その他のツールが活用できないか検討していきます。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		夏祭りで地域の方々に参加していただけるよう、ポスターを掲示しております。	地域交流を図れるよう、ポスター掲示などで発信していますが、交流の機会が少ない現状があります。今後も積極的に地域の方に発信していきます。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	各マニュアルを策定しております。各職員がマニュアルを理解し、発生を想定した動きが取れるようにしています。	発生を想定した訓練を行っています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	1	定期的に防災訓練センターを訪問し、体験を積んでいます。また、事業所内で災害についての学習を取り入れております。	避難場所へのルート確認や、支援員の役割分担など、確認できる機会を増やしていきます。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		保護者様から情報をいただき、服薬の情報共有を図っています。また、てんかん発作のあるお子さまについては、服薬時間に対応させていただいております。発作に関する医療情報の提供を受けております。	服薬の状況や、発作等の対応など、変更がないかの確認を定期的に行っていきます。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		保護者様からの情報を基に、対応させていただいております。	医師の指示書が必要なケースは、こちらから保護者様にお伝えし情報提供させていただきます。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		安全な環境の中で、支援するようにしています。	安全管理に必要な研修を取り入れていきます。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	1	事業所内設備の安全を徹底しております。定期的な点検を行い、安全に過ごせるように努めています。車両については置き去り防止の設備を設置しております。月ごとに取り組む内容を提示しています。	提示の仕方を見直し、取り組み内容を家族様によりわかりやすくお伝え出来るよう検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		事業が発生した際は、口頭での情報共有に併せ、ヒヤリハット報告書に当該支援員が明記しています。	ヒヤリハットの様式の改善を含め、情報共有しやすいよう改善していきます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		これまでに事業は発生していませんが、職員会議内で情報収集しています。事業所内研修を実施し、適切な対応が出来るよう体制を整えています。	定期的に、外部研修の機会を設けていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束の事業はありませんが、該当児童がおられるときは、事前に説明し了承を得たうえで、計画書に記載いたします。	今後、必要なケースの場合は、本人や保護者様に十分に説明させていただきます。そのうえで、個別支援計画書に明記を致します。